

Global Design Lecture



「日本人の情報行動 この20年の変化」

東京大学大学院情報学環 教授 橋元良明

講演概要：

橋元研究室では1995年以降、5年ごとに「日本人の情報行動調査」を実施している。全国13歳以上の男女が対象で、ランダムサンプリング、訪問留置法、日記式記録票に基づくメディア利用の時間量調査である。2012年以降は総務省との共同実施の形で毎年実施し、国の継続指標にもなった。

それによれば、若年層を中心にテレビ視聴時間が激減し、ネット利用時間が年々増加している。ネット利用についてみれば、私的なやりとりである「コミュニケーション系」の利用の割合が70%程度に達し、情報のやりとりが私的個別的になる傾向があり、それと連動するように若者の政治関心も低下している。

今回の講演では、データに基づいて日本人のメディア利用行動の変遷をたどり、メディア利用と若者のメンタリティーとの関連を考察する。

11月28日（金） 14:50～16:20
工学部2号館3階 電気系会議室1AB